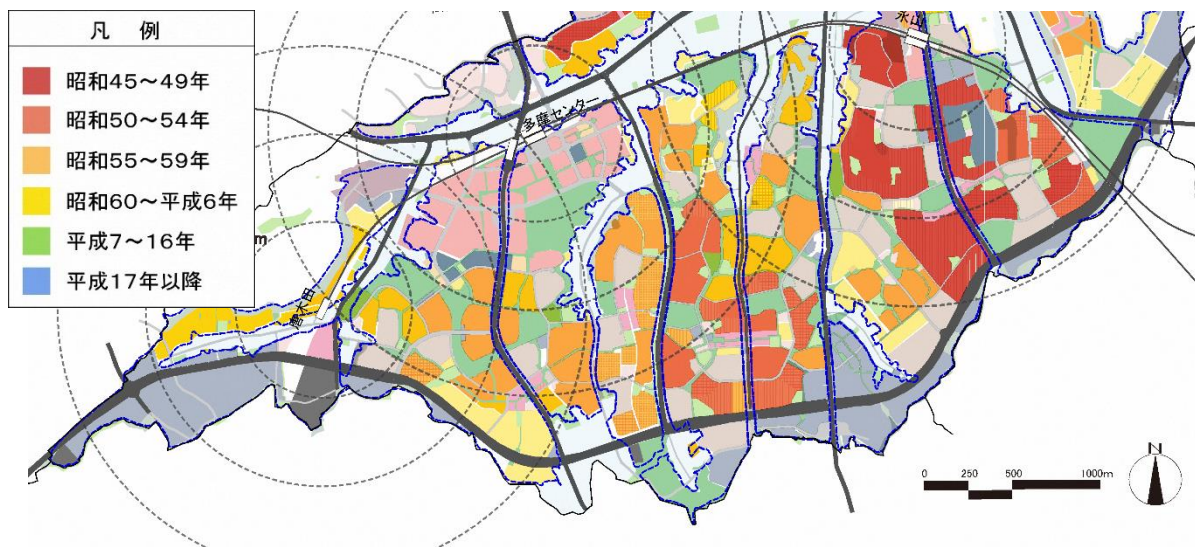
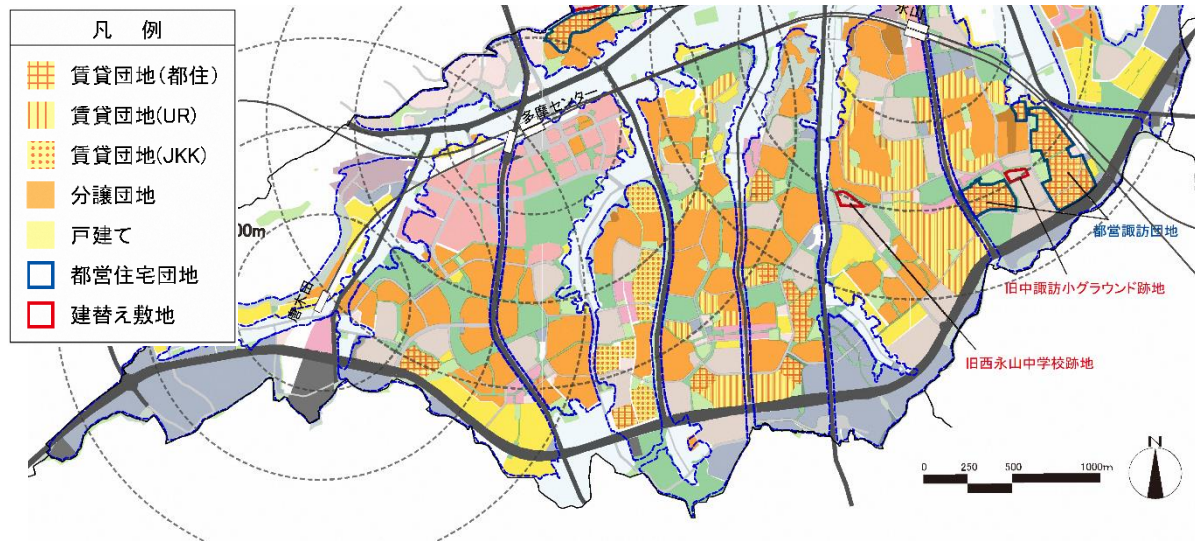


(11) 住宅

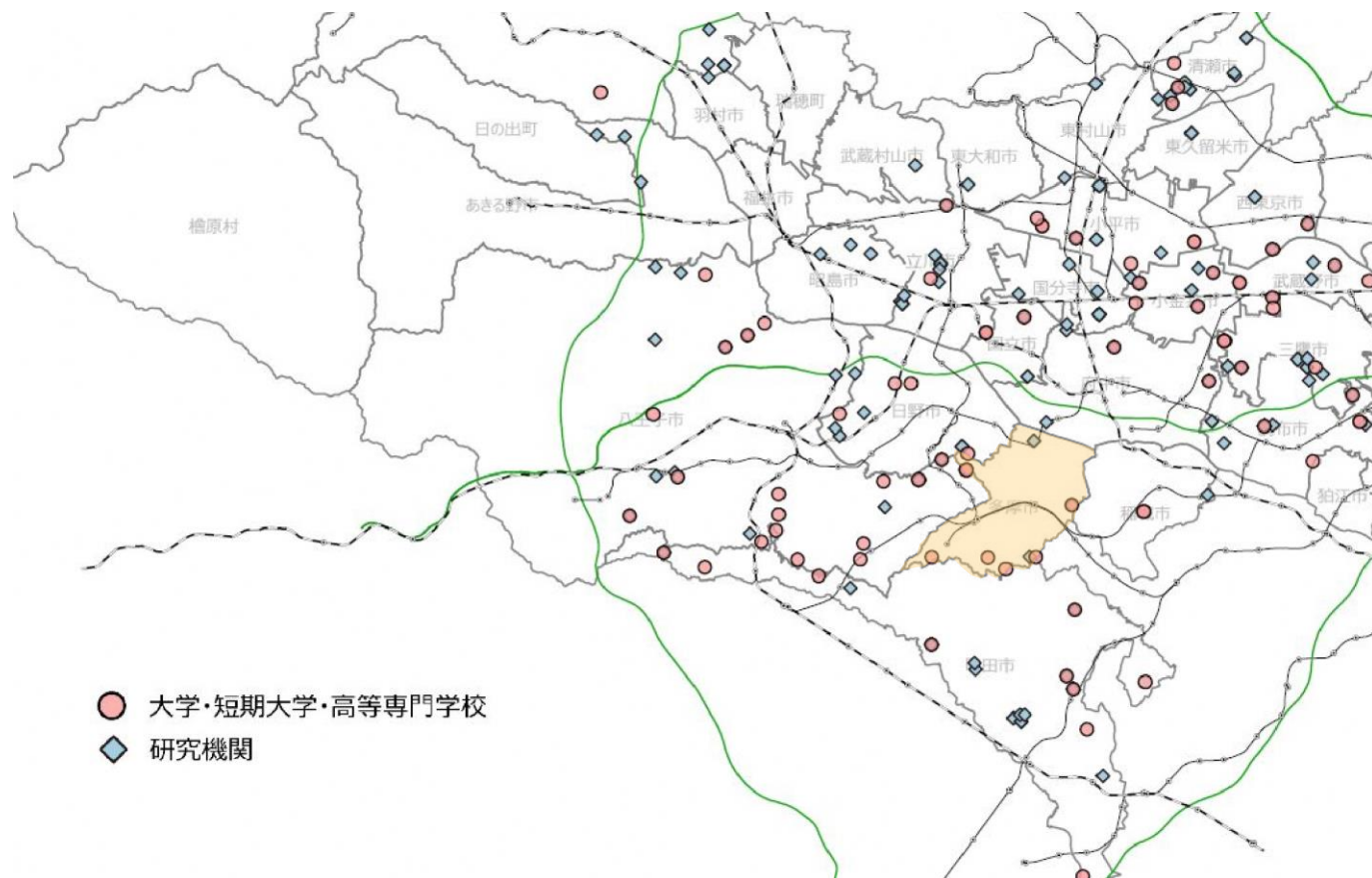
- 東京への流入人口の増加に対応するため、新住宅市街地開発事業が決定。
- 昭和45年から、現在に至るまで多様な住宅ストックが形成される等、日本の住宅史を牽引してきた他都市にはない住宅地都市の魅力がある。



(12) 産業・企業

①大学・研究機関の立地

- 多摩地域は全国の約5%の大学が集積。
- 多摩地域には、大学付属機関、国・都・自治体等の公立施設や、企業の研究所等を含め、多くの研究機関が立地。



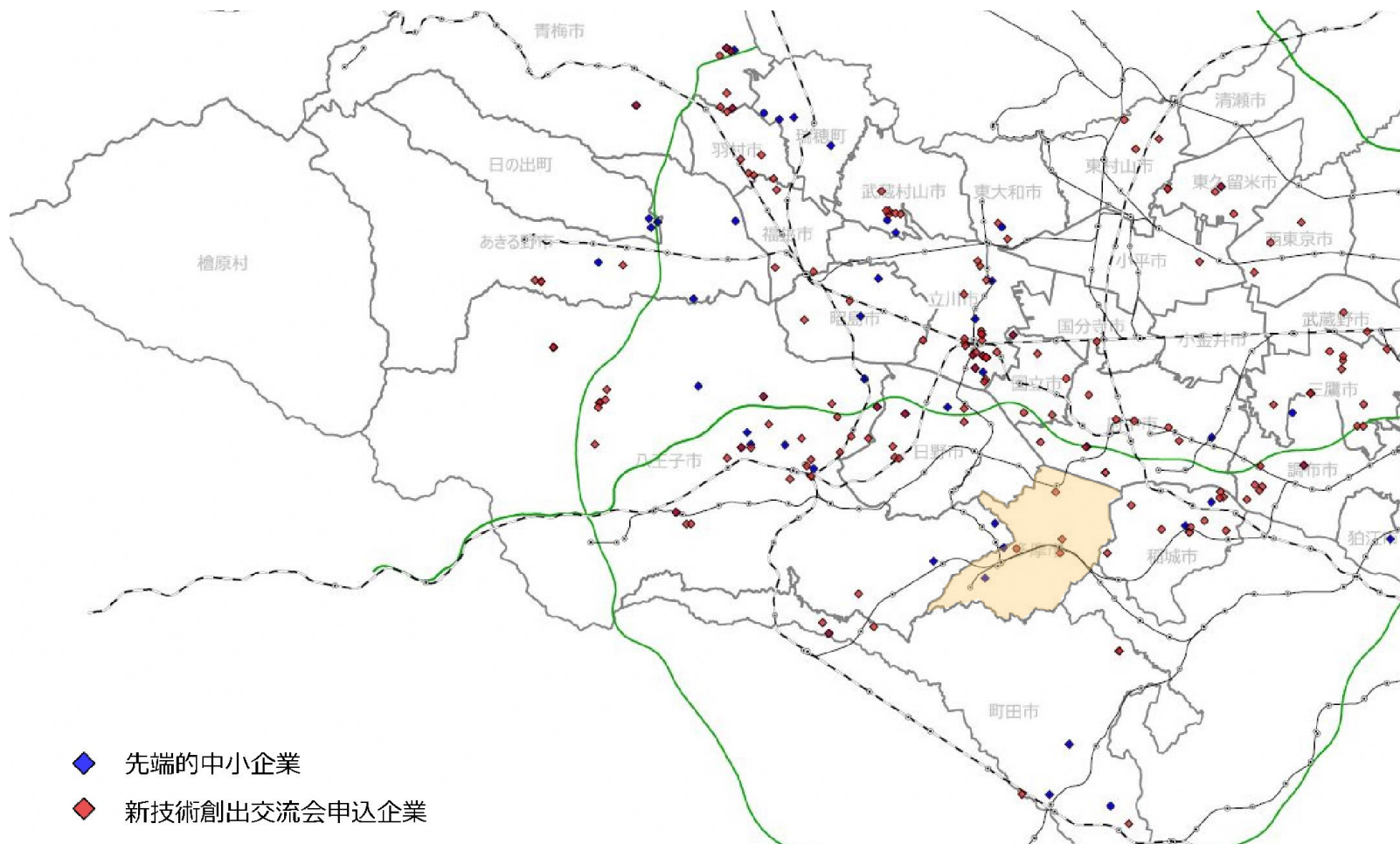
出典：多摩のイノベーション創出拠点の形成に向けた取組方針（令和2年）

図表：多摩地位樹の先端的中小企業等（平成29年時点）「イノベーション多摩支援事業（イノタマ）」HPより

(12) 産業・企業

②先端的中小企業の立地

- ・多摩地域では、今後の成長分野における高い技術力を持つ中小企業が複数立地。



出典：多摩のイノベーション創出拠点の形成に向けた取組方針（令和2年）

図表：多摩地位樹の先端的中小企業等（平成29年時点）「イノベーション多摩支援事業（イノタマ）」HPより

(12) 産業・企業

③多摩市内の産業特性

- 多摩市の産業は第3次産業が最も大きな割合を占めており（91.1%）、特に情報通信産業の集積が特徴となっている。（第3次産業のうち16.6% 都平均は16.3%）
- 独自の技術や製品をもつニッチトップ企業が複数立地している。

■多摩市内に立地する先端企業の例

a.京西テクノス株式会社

- メーカーの計測器、医療機器、通信機器などの保守・修理等のサービスを提供する「トータルマルチベンダーサービス」を主要事業とする。



b.JUKI株式会社

- 総合ミシンメーカー。縫製用の工業用ミシンについては、180ヶ国で使用され、世界シェアは約30%と、業界No.1のグローバル企業。



c.KDDI株式会社

- 携帯電話通信サービス等電気通信サービス等を提供している総合通信事業者。
- 情報通信技術の利活用の推進、安全・安心な情報通信を利用できるよう、耐震性を強化した次世代局舎を多摩市唐木田地区に建設。



d.株式会社野村総合研究所

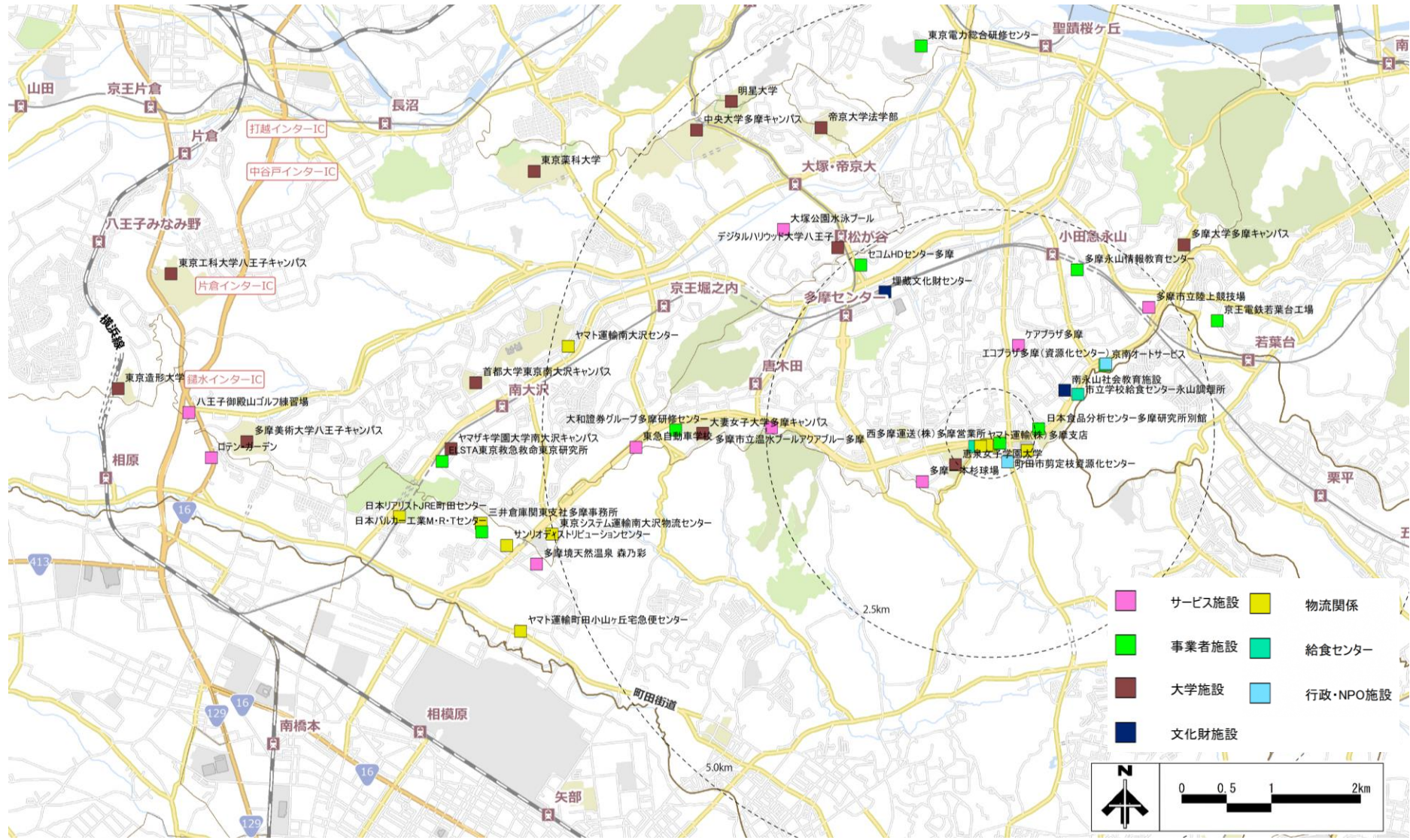
- リサーチ、コンサルティング、ITソリューション、システム運用等をトータルに提供する企業。
- 市内に「NRI東京第一データセンター」を新設し事業を展開。



2.尾根幹線沿道の課題と魅力

(12) 産業・企業

④尾根幹線沿道状況 (5km圏域)



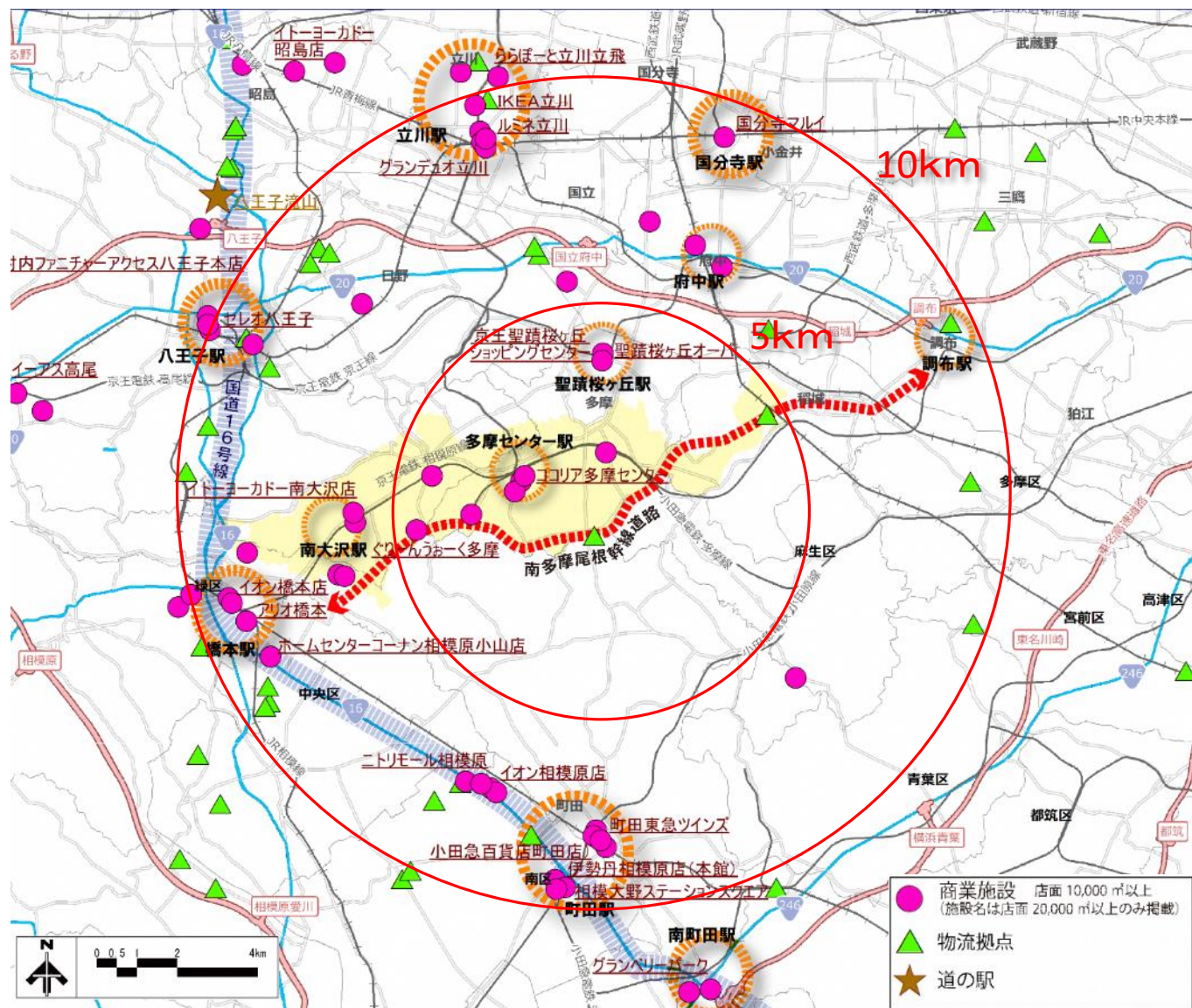
出典：南多摩根幹線沿道における企業立地・行動調査業務委託報告書（平成27年 多摩市）を元に時点補正

(13) 商業

① 広域的施設立地

※広域的な施設把握として、国土交通省の国土数値情報を活用。ただし、商業のみ大型小売店舗総覧で補足。

- 5km圏域では、多くは駅前商業施設で、幹線道路沿いの郊外施設は「多摩ぐりーんうおーく」のみ。
- 10km圏域では、周辺市との大規模商業施設が多数立地。
- なお、10km圏外の国道16号線沿いに、都内唯一の道の駅が立地。
- 国道16号線沿いに、物流拠点が集積立地。



(13) 商業

②尾根幹線沿道状況 (5km圏域)

- 2.5km圏域では、スーパーやドラッグストア、飲食店等の身近な店舗が駅周辺を中心に立地。



出典：南多摩根幹線沿道における企業立地・行動調査業務委託報告書（平成27年 多摩市）を元に時点補正

(14) スポーツサイクル

①スポーツサイクル利用の状況とニーズ

- 尾根幹線は、適度なアップダウンがあり、近年人気の高まっているスポーツサイクルの聖地。
- 週末には市内外から多くの愛好家が集まる。
- 東京2020オリンピック競技大会における自転車競技ロードレースコースに指定されている。

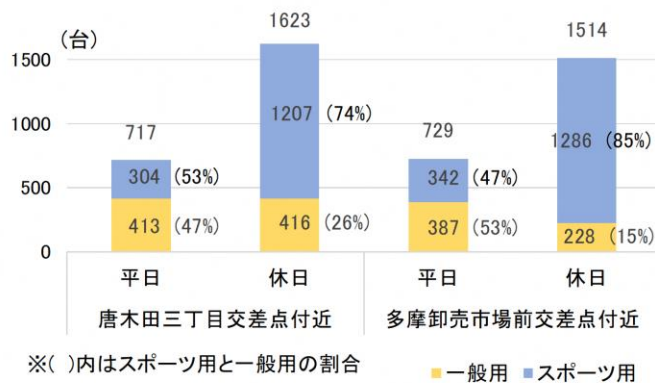


(14) スポーツサイクル

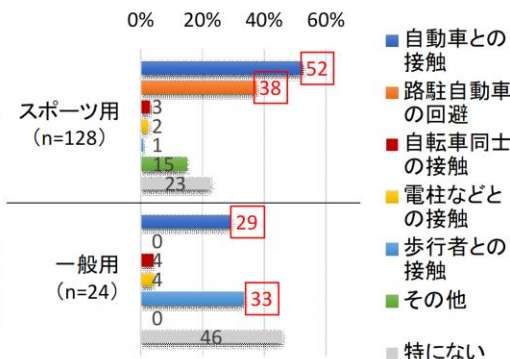
②「スポーツサイクル」のアンケート調査結果 (諏訪・永山まちづくり計画より)

- 自転車交通量は、休日に多く、スポーツ用自転車の交通量が7割以上を占める。
- 沿道に望む施設は、スポーツ・一般利用共にトイレや自販機のある休憩場所があげられている。
- 望ましい自転車走行空間については、スポーツ・一般共に自転車レーンが最も多い回答であった。

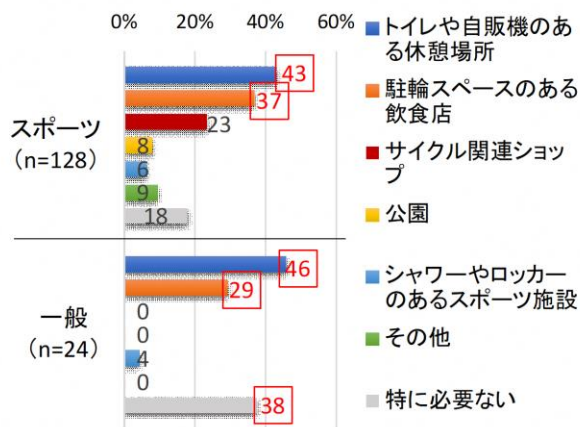
<自転車交通量>



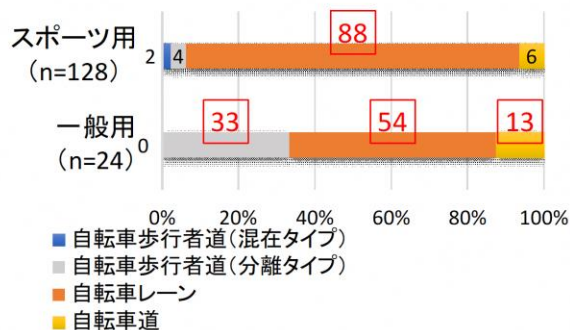
<不安に感じること>



<沿道に望む施設>



<望ましい自転車走行空間>



(15) 周辺市のまちづくり動向

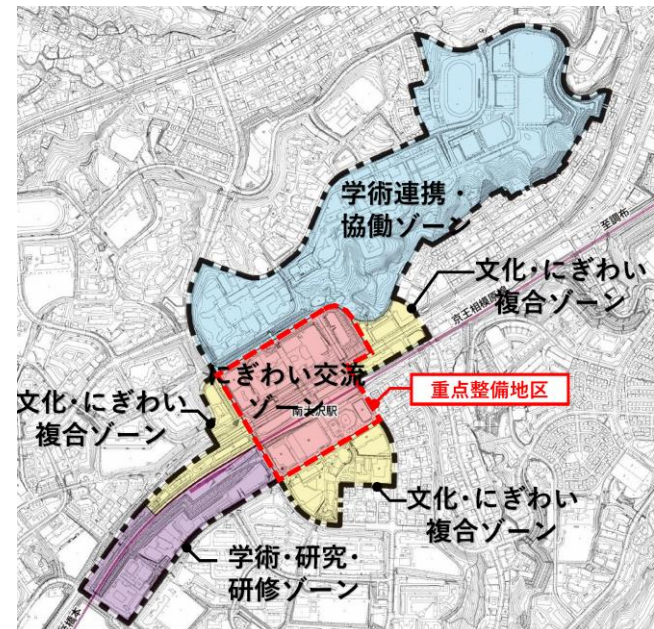
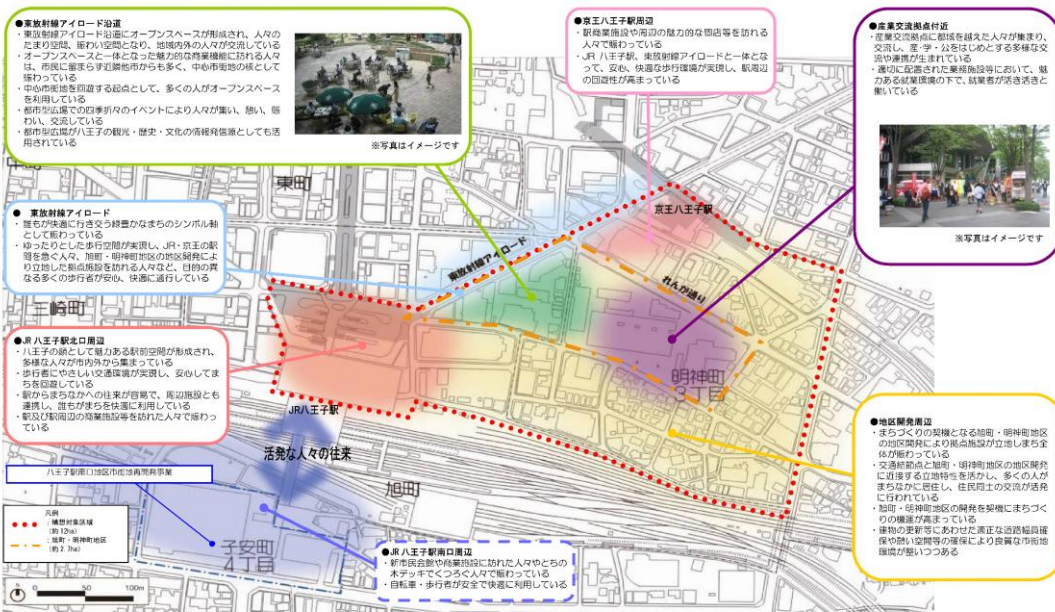
①八王子市

a.八王子駅周辺

- 産業交流拠点として、八王子合同庁舎との複合施設を計画。
- 多摩地域最大規模の展示ホール、会議室、大屋根のある広場を整備。
- 2022年完成予定。

b.南大沢駅周辺

- 三井不動産の駅前都有地の借地契約が終了するため、都有地活用を契機に、まちづくり方針を検討中。
- 『スマート東京実施戦略』では、スマート東京先行実施エリアに位置付け。

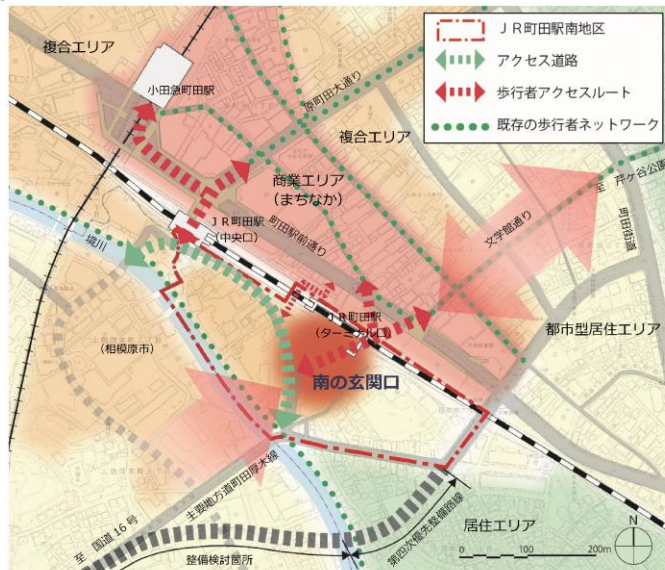


(15) 周辺市のまちづくり動向

②町田市

a. 町田駅周辺

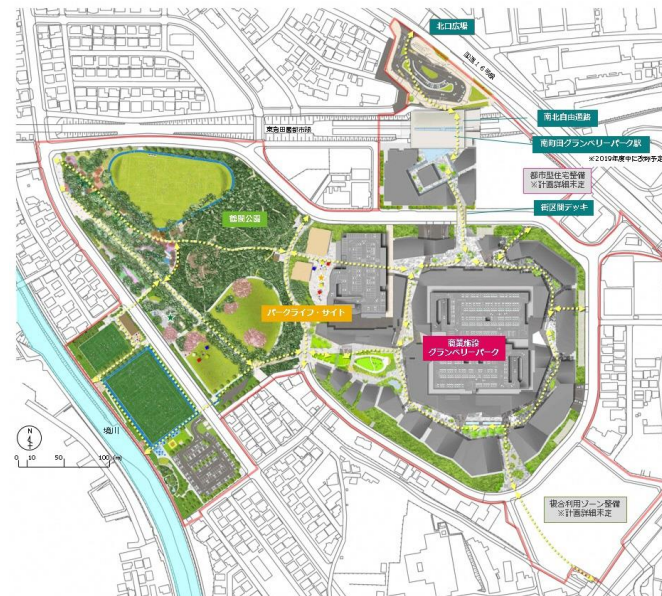
- 町田駅南側から多くの人にまちなかへ訪れてもらうために、交通環境の整備やまちなかへのアクセスの強化に取り組む「南の玄関口のまちづくりプロジェクト」を推進するため、「JR町田駅南地区まちづくり整備方針」を2018年3月に策定。



b. 南町田駅周辺

(南町田グランベリーパーク)

- 町田市・東急電鉄の共同による「南町田拠点創出プロジェクト」
- 商業ゾーンは店舗面積約5.3ha、スヌーピーミュージアムが立地。

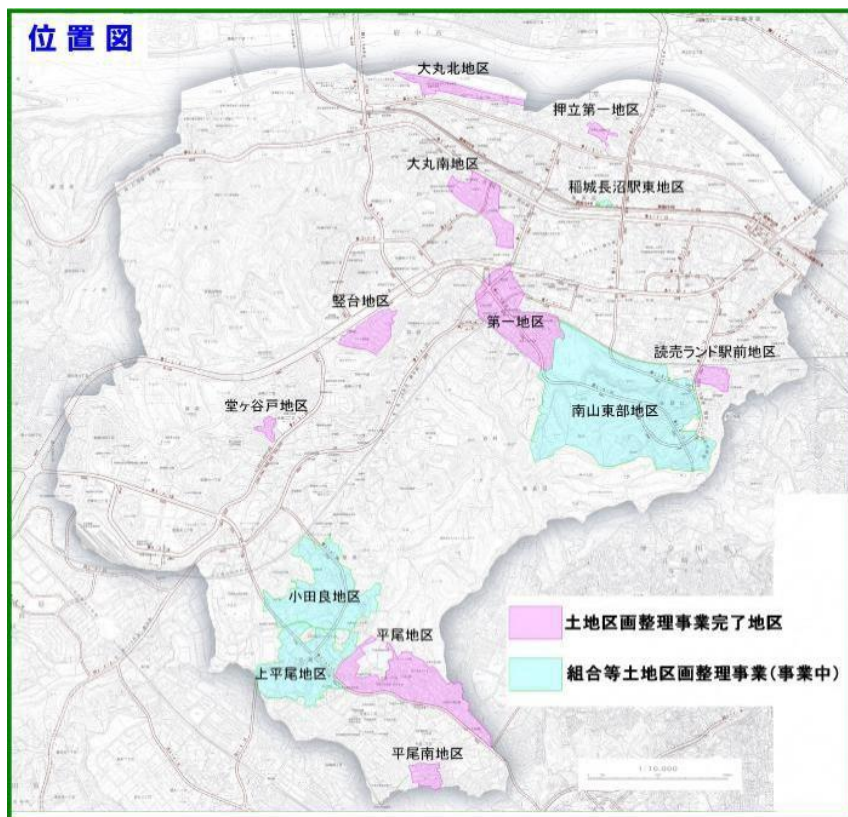


(15) 周辺市のまちづくり動向

③稲城市

a. 事業中の土地区画整理事業

- 南山東部地区（87.46ha）、小田良地区（29.5ha）
上平尾地区（25.1ha）等で面的な区画整理を事業中。



(15) 周辺市のまちづくり動向

④相模原市

a. 相模原駅周辺

- 相模原駅を中心とする相模原駅周辺地区（約660ヘクタール）のうち、相模総合補給廠の一部返還地（約17ヘクタール）は、新市街地の形成により相模原駅周辺地区全体の起爆剤としての役割が期待されることから、優先的に整備。



b. 橋本駅周辺

- 橋本駅周辺地区（約120ヘクタール）のうち、駅南口は、重点的に検討が必要な地区として、令和9年のリニア中央新幹線の開業を見据えたまちづくりを目指す。

